

# 管内貿易概況(徳山、光、防府、平生)

## 平成21年分(速報値)

平成22年2月15日  
徳山税関支署

### 輸出は2年連続のマイナス 輸入は7年振りのマイナス

#### 1. 総額

輸出	8, 697億77百万円	(- 31.5%)
輸入	5, 122億27百万円	(- 45.9%)
輸出入差引額	3, 575億50百万円の出超	(増減比は前年比、以下同じ。)

#### 2. 輸出

輸出総額は、8, 697億77百万円、伸び率-31.5%、金額にして3, 990億81百万円の減少で2年連続のマイナスとなった。これは無機化合物、一般機械などが好調であったものの、自動車、鉄鋼などが不振だったことが主な要因となっている。

品目別動向では、韓国、台湾等向けの無機化合物が44億98百万円の増加、中国、アメリカ等向けの一般機械が18億25百万円の増加となった。

一方、北米、欧州等向けの自動車が2, 891億22百万円の減少、韓国、中国等向けの鉄鋼が704億02百万円の減少、中国、韓国等向けの有機化合物が190億70百万円の減少、中国、アメリカ等向けの自動車の部分品が144億82百万円の減少、中国、マレーシア等向けの合成ゴムが133億62百万円の減少となった。

《増加品目》無機化合物	318億71百万円	(44億98百万円増、+ 16.4%)
一般機械	64億81百万円	(18億25百万円増、+ 39.2%)

《減少品目》自動車	4, 281億67百万円	(2, 891億22百万円減、- 40.3%)
鉄鋼	624億17百万円	(704億02百万円減、- 53.0%)
有機化合物	1, 381億63百万円	(190億70百万円減、- 12.1%)
自動車の部分品	510億68百万円	(144億82百万円減、- 22.1%)
合成ゴム	242億19百万円	(133億62百万円減、- 35.6%)

#### 3. 輸入

輸入総額は、5, 122億27百万円、伸び率-45.9%、金額にして4, 340億58百万円の減少で7年振りのマイナスとなった。これは塩などが増加したものの、輸入品の約7割を占める原油及び粗油、石油製品などが減少したことが主な要因となっている。

品目別動向では、オーストラリア、メキシコ等からの塩が26億80百万円の増加となった。

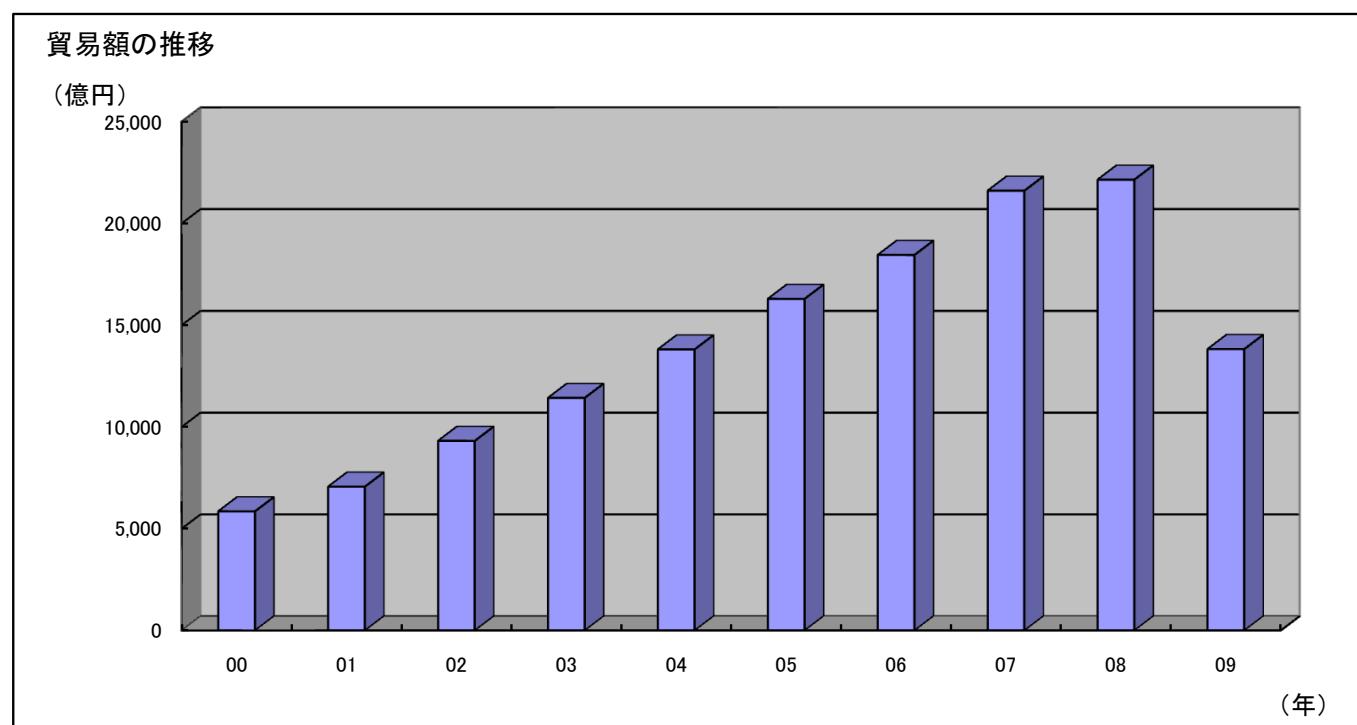
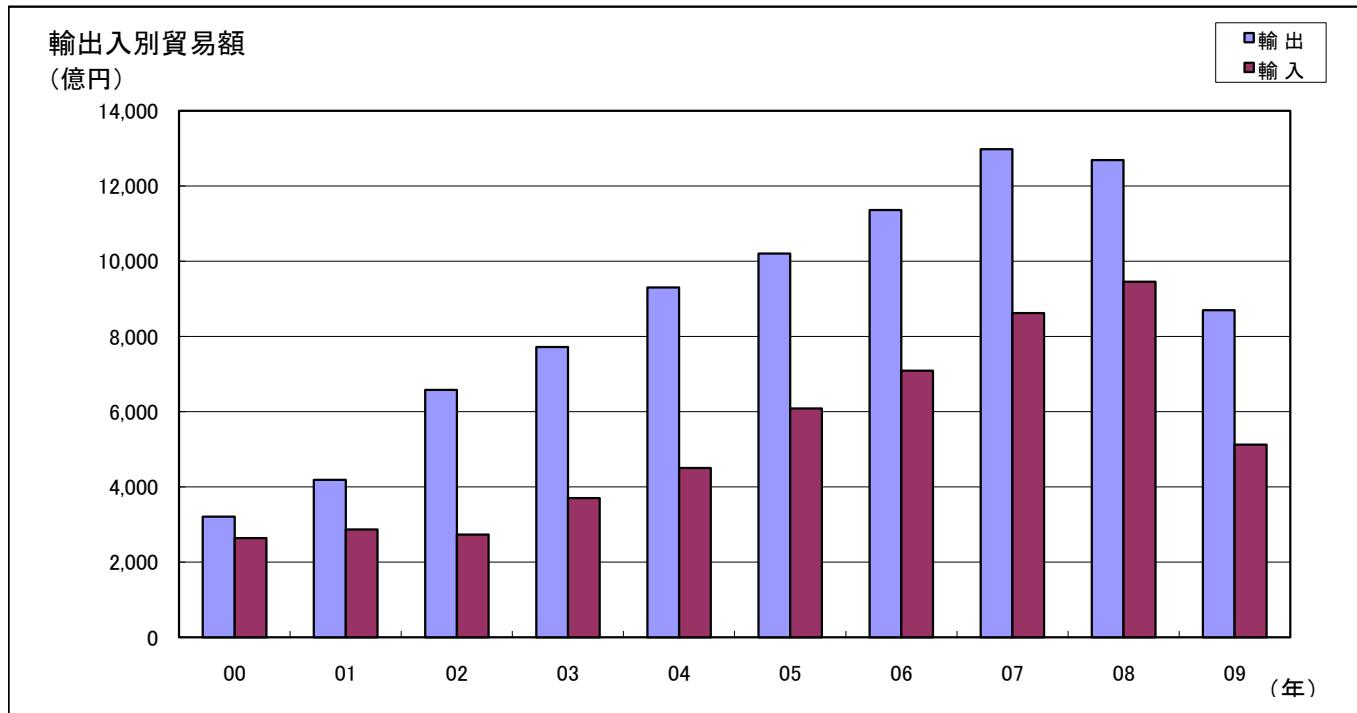
一方、カタール、アラブ首長国連邦等からの原油及び粗油が2, 030億26百万円の減少、サウジアラビア、アラブ首長国連邦等からの石油製品が677億03百万円の減少、南アフリカ、ニューカレドニア等からの鉄鋼が412億03百万円の減少、中国、マレーシア等からの機械類及び輸送用機器が381億69百万円の減少、オーストラリア、インドネシア等からの石炭が185億62百万円の減少、東ティモール、サウジアラビア等からの液化石油ガスが136億27百万円の減少となった。

《増加品目》塩	146億33百万円	(26億80百万円増、+ 22.4%)
---------	-----------	---------------------

《減少品目》原油及び粗油	2, 094億40百万円	(2, 030億26百万円減、- 49.2%)
石油製品	838億97百万円	(677億03百万円減、- 44.7%)
鉄鋼	294億10百万円	(412億03百万円減、- 58.4%)
機械類及び輸送用機器	251億67百万円	(381億69百万円減、- 60.3%)
石炭	617億23百万円	(185億62百万円減、- 23.1%)
液化石油ガス	138億42百万円	(136億27百万円減、- 49.6%)

注. この内容を引用されるときは、徳山税関支署発表による旨附記してください。

## 年別 徳山税関支署管内貿易額推移グラフ



年	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09
輸出	3,206	4,189	6,576	7,719	9,303	10,203	11,358	12,980	12,691	8,698
輸入	2,641	2,872	2,735	3,704	4,504	6,085	7,089	8,625	9,456	5,122
合計	5,847	7,061	9,311	11,423	13,807	16,288	18,447	21,605	22,147	13,820